

市立小中学校の学校給食費を公費負担化しています(令和7年1月から)

- 日野市の学校給食に日野産農産物を取り入れてから40年以上がたち、学校と農家の方々等が協力しながら安全安心で新鮮なおいしい旬の食材が提供されています。
- また全校に栄養士を配置し、それぞれの学校で献立を立て、給食を作る自校方式で、調理したての温かい給食を食べることができます。
- 日野市では、生産者をはじめ多くの方が関わっている給食を大切にする観点から、「無償化」という表現を控え、「公費負担化」と説明しています。
- 学校給食は、これまで市が負担していた管理運営経費(人件費、調理業務委託料、施設整備費等)年間約13億円に加えて、このたび、公費負担化した給食費(食材料費)年間約8億円とで運営されております。
- 引き続き「安全で、おいしく、楽しい給食」を目標に、日野産農産物の積極的な利用を含め、質の高い学校給食に向けて取り組んでいきます。

問 学務課(☎042-514-8749)



ひのっ子ががんばります



大坂上中学校

児童館の音楽室を華やかに彩る大坂上中学生



12月14日(土)、さかえまち児童館の音楽室を明るく楽しい場所にしてほしいという依頼を受け、大坂上中美術部員が壁面に装飾を施しました。ボランティア部も準備に協力し、利用する子供たちがワクワクするような空間になるよう部員たちも楽しみながら思いを込めて描きました。

小学生と地域の方々に、クリスマスコンサートをプレゼント



大坂上中吹奏楽部が、近隣の小学生や保護者、地域の方を招いてクリスマスコンサートを実施しました。前半は2年生によるアンサンブルや1年生によるハンドベル演奏を披露し、会場をクリスマスの雰囲気包みました。後半は、吹奏楽部全員によるクリスマスメドレーなどの演奏とともに、部員が考えたダンスやMCで会場を盛り上げ、楽しいひと時をプレゼントしました。

日野第七小学校

防災で学んだことを地域の方へ



地域の方のニーズを知るためのインタビュー活動

日野七小の6年生は、総合的な学習の時間で『防災』をテーマとした学習に1年間取り組んできました。被災者の方から話を聞いたり、救護活動などの実践的な体験をしたりしてきました。そして、地域の防災意識を高めようと、地域の方に意識調査をした上で、学んだことを地域の方にも伝える「防災フェス」を実施しました。

南平小学校

開校50周年の花壇づくり



南平小では、環境美化委員会で開校50周年のお祝いに花壇の整備を行いました。児童のアイデアで「50th」の形に花を植え、看板・柵・ポスターの作成や、毎日の水やりと手入れを行いました。保護者や地域の方などのサポートをいただきながら、カラフルに生まれ変わった花壇で周年記念日を迎えることができました。

日野第三中学校

バードカービング日本野鳥の会賞



全日本バードカービングコンクールにて3年藤田珠摘さんの作品「メジロ『僕にもカキちょうだい』」が日本野鳥の会賞を受賞しました。羽の薄さや広げた時の翼の出方に気を使い、羽を広げた鳥の表現に初挑戦しました。柿の葉も実物を観察し、リアルに見えるよう工夫しました。藤田さんは「約1年かけて制作した作品が評価され、とても光栄です。」と話していました。

令和7年4月
スタート

「なのはな学級」開級までの一年

～日野第八小学校「たちばな学級」&七生緑小学校「あおぞら学級」の取組～

「たちばな学級」に通う児童と「あおぞら学級」に通う児童は、令和7年4月から七生緑小に新たに開級する「なのはな学級」で一緒に過ごします。2つの学級に通う児童は、令和6年4月からオンラインで交流を始めました。令和6年5月には、「たちばな学級」の児童が七生緑小を訪問し、「あおぞら学級」の児童と直接会って交流会を行いました。2つの学級は、その後も、多摩特研交流会・七生緑フェスティバル、宿泊学習や合同学習発表会などで交流を重ねてきました。

新学級名の「なのはな」は、日野八小と七生緑小の児童等から募集し、「たちばな学級」と「あおぞら学級」の児童が合同で学級会を開いて決めました。学級会の中では、「明るく輝く菜の花が、春に新しくスタートする学級のイメージに合っている。」や、「『はな(八七)』には、それぞれの学校名の一部が入っている。」という意見が出ました。

新しくスタートする「なのはな学級」で、児童が充実した学校生活を送ることができるよう、皆様の応援をよろしくお願いいたします。



**令和6年5月
初めての交流会**

「校庭が広い!」と驚く「たちばな学級」の児童。交流会の最後には、「もうみんなでした方が楽しい!」という感想が聞かれました。



**令和6年9月
宿泊学習**

一緒に行ったキツザニアでの体験や、宿舍でのレクリエーション交流がとても楽しく、忘れられない思い出になりました。



**令和6年12月
合同学習発表会**

2学級合同で音楽発表を行いました。舞台上着用したのは、「たちばな学級」と「あおぞら学級」の児童が一緒に絞り染めをしたTシャツです。



**令和6年12月
学級名を決めた学級会**

「たちばな学級」の児童が七生緑小を訪問し、2学級合同で学級会をしました。一人一人自分の意見を伝えてから、話し合いで新学級名を決めました。



タイラートに思い出を込めて....

「たちばな学級」に通う児童は、4月から七生緑小に通うことになるので、「日野八小に自分たちが過ごした『たちばな学級』での思い出を残したい。」という思いをタイラートで表現しました。タイラートの制作の際には、児童が制作協力者にプレゼンテーションをし、たくさんの人に見てもらえる場所を自分たちで探しました。タイラートには、「たちばな学級」の畑で育てた野菜や日野八小のキャラクターたちが、七生緑小に虹を渡って行く様子が描かれています。日野八小にお立ち寄りの際には、正門近くにあるタイラートをご覧ください。

**令和7年1月
タイラート制作の様子**



～子ども包括支援センターみらいくのオープン後の

2階 子どもなんでも相談 3階 中高生世代スペースについてご紹介します～

2階

子どもなんでも相談

市内在住・在学・在勤の0歳～おおむね20歳のお子さん、妊産婦、子育て中の保護者などから、子供に関わるあらゆる相談を受付ける窓口を開設し、10か月がたちました。開始後半年で190件ほどの相談をいただきました。子供からの相談は、市立小・中学校の学習者用端末からが主な相談のツールになっていて、いつでも相談することができます。一人で悩まないで気軽に相談してみてくださいね。

問 みらいく子どもなんでも相談 (☎042-506-2899) ✉ miraiku@city.hino.lg.jp



3階

中高生世代スペース

利用対象者:市内在住・在学・在勤のおおむね12～18歳の中高生世代

ゲームをしたり、漫画を読んだり、だらだらしたり…思い思いの時間を過ごしています。テスト期間中の個別スペースは、集中して勉強をする生徒で席が足りないほどにぎわっています。

問 子ども家庭支援センター (☎042-506-2157)



続いています、福祉教育ハートフルプロジェクト

～障害のあるなしにかかわらず、誰にとってもやさしいまちを目指して～

市内の小学4年生を主な対象として展開している福祉教育ハートフルプロジェクトは、令和4年度から事業を開始し、令和6年度においては、市内5校で展開されています。

このプロジェクトのパートナー校である日野六小では、日野市出身のデフサッカー日本代表選手である名村 昌矩(なむら まさのり)選手と子供たちがサッカーを楽しみ、耳が聞こえない方や聞こえにくい方と一緒にスポーツをするための工夫などについて学びました。

また、この授業を受けた児童が、12月にイオンモール多摩平の森で開催された障害者週間イベント「いっしょに」の中で学んだ成果を発表しました。今後も福祉教育ハートフルプロジェクトにご注目ください。

問 障害福祉課 (☎042-514-8991)



↑日野六小の児童が障害者週間イベントにて発表している様子



日野六小の児童が名村選手と一緒にサッカーを楽しんでいる様子

子ども家庭支援センター

障害福祉課

中央公民館

ひのっ子シェフコンテスト開催

市内の小学生が地場産食材を活用したメニューを考え、調理する料理コンテストが行われました。第18回となる今回は、33作品の応募の中から、一次選考で選ばれた5作品6人のひのっ子シェフが腕を振るい、おいしい料理を作りました。コンテストのメニューは、学校給食で提供されています。



↑二次元バーコード
(市ウェブページ)

当日の様子や受賞レシピは、日野市ウェブページにて公開していますので、ぜひご覧ください！

問 中央公民館 (☎042-581-7580)



↑金賞「ジャキジャキれんこんと日野産野菜のジャージャーうどん」

就学相談を受け付けています

令和8年4月の小学校または中学校への就学・進学に向けて、学習面や集団生活面などで困り感があるお子さま、発達上気になる様子や行動がみられるなどのお子さまが、適切な教育を受けることがで



きるにはどのような教育環境で学ぶのが望ましいのか、就学相談員が保護者の方々に必要な情報を提供し、丁寧な相談を進めていきます。

特別支援学校、特別支援学級、特別支援教室への入学、入級、入室をご検討の場合は、必ずご相談ください。

- 対 令和8年度小学校または中学校へ就学・進学を予定されているお子さまの保護者の方
- 他 事前予約制
- 申 令和7年8月31日(日)まで
電話、ファックスまたは右記の二次元バーコードにて申し込み(土日祝は二次元バーコードのみ受付)
- 問 日野市発達・教育支援センター「エール」内
発達・教育支援課 (☎042-589-8877)



発達・教育支援課

学びのチャンスいろいろ



第18回新選組書展を開催中

神明4丁目にある新選組のふるさと歴史館では現在、全国から応募していただいた書道作品を展示する「新選組書展」を開催しています。毎年、新選組ゆかりの文字を課題にして、今年も多くの作品が集まりました。大賞などの力作をはじめ、多種多様な書道の作品を展示しています。市内の小・中学生の作品も展示していますので、ぜひ、新選組のふるさと歴史館にお越しください。



- 【会 期】4月13日(日)まで
9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 【休館日】月曜日(休日の場合は開館し、翌平日休館)
3月18日(火)~3月21日(金)
- 【入館料】大人 200円、小中学生 50円
- 【会 場】新選組のふるさと歴史館 (☎042-583-5100)

モノの値段や流通を考える企画展を開催中

みなさんは普段お買い物をどこで行い、どのようなものを買っていますか？程久保にある日野市郷土資料館では、昔の「お買い物」をテーマとしておもしろい企画展を開催しています。日々の衣食住など生活に関するもの、農業に関する道具など、様々な「モノ」から昔の日野市の暮らしや流通について紹介しています。どのようなものが、いくらで、どこからやってきたのか、実際の「モノ」を見ながら考えてみませんか。日野のことが学べる郷土資料館でお待ちしております。



- ひのっ子お買い物展～モノの値段・モノの流れ～
- 【会 期】4月6日(日)まで 9:00~17:00
- 【休館日】月曜日(休日の場合は開館し、翌平日休館)
- 【入館料】無料
- 【会 場】郷土資料館 (☎042-592-0981)

ふるさと文化財課

図書館

中学生と作家の交流事業2024 田丸 雅智さん講演会を開催！



令和6年11月4日(月祝)に、多摩平の森ふれあい館にて「田丸雅智さん講演会」を開催しました。中学生7名が会議を重ねて企画し、当日の司会進行も務めました。

中学生に人気のショートショート作家・田丸雅智さんによるご講演のほか、中学生企画のコーナーでは、田丸さんについての並べ替えクイズや、田丸さんの作品に登場する小道具(提灯)を中学生が再現したものを披露しました。来場者アンケートでは「とても聞きやすかったし、面白くてあっという間でした。」「クイズを通して作品のウラ話も聞けて良かった。」など、たくさんの感想をいただくことができました。講演会終了後には、企画に参加した中学生と田丸さんとの交流会を行いました。田丸さんの趣味の話など、講演会では聞けなかった話で盛り上がる会となりました。

問 中央図書館 (☎042-586-0584)

「小学生土曜算数教室」を開催しました

生涯学習課

市内小学校6年生を対象に、4月から12月までの全10回にわたり、教育センター講堂にて「小学生土曜算数教室」を開催しました。

元帝京大学客員教授廣田敬一先生を講師に迎え、少し手ごたえのある算数の問題への挑戦を通じ、約40名の児童が、算数の楽しさを体験することができました。なお、教室の実施に当たっては、会場の近隣校である夢が丘小地域コーディネーターをはじめ、多くのボランティアの方に参画いただき、運営を支えていただきました。



問 生涯学習課 (☎042-514-8765)